

見へり。同五十五年春二月戊子朔壬辰
以彥狹嶋王拜東山道十五道都督。是豐
城命之孫也。云々。同五十六年秋八月詔
御諸別王曰。汝父彥王不得向任所而早
薨。故汝專領東國。是以御諸別王兼天皇
令欲成父業。則行治之。早得善政。云々。同
三十代。用明天皇二年七月壬辰朔遣
近江臣滿於東山道使觀蝦夷國境。遣完
人臣鴈於東海道使觀東方濱海諸國境。
遣阿倍臣於北陸道使觀越等境。云々。凡

古記をみるとに出羽といふハ鷲鷹の羽を
貢と志すめ。こゝ村里より出づる名と見え
り。出羽を貢と。こゝろ始ハ二十代

允恭帝の御宇なり。世を経て四十三代
元明天皇和銅元年に郡名とはおあり
後日本書紀才曰く。卷曰。和銅元年九月越
後國言新建出羽郡。許之。云々。同二年七月
以從五位上上毛朝臣安麻呂為陸奥守。
令諸國運送於出羽。柵為征蝦夷也。云々。
出羽柵といふハ。けし。今ハ御川村あり